

# を開催しました 議会をめざして～

平成22年度から年一回行っている議会報告会も今年が5回目となりました。八女市全域21か所で行い、多くの市民の皆様に参加いただきました。

今回の報告会では、各常任委員会から平成26年度予算に関して報告させていただきました。また、その他各地域の課題・要望についても意見を聞かせていただきました。出されました意見・要望などは、議会内で議論するもの、執行部についていくものに整理し、今後行政区長会、議会ホームページなどでお知らせします。

今回はたくさんのご意見等の中から一部を掲載しています。

**問** 議員定数について具体的な検討はされているのか。  
**答** 八女市が県下第2位の広大な面積を有する点も考慮せねばならない。次を担う若い方が、出やすいようにも考えていかなければならないと思う。

**問** 政務活動費の使い方は。  
**答** 地方自治法改正で認められた政務活動費である。月1万円×12月＝12万円は、一括して事務局預かりであり、活動費に値しないものは一切払っていない。

**問** 八女市においての「ふるさと納税」はどうなっているのか。  
**答** 防犯・防災上危険な

**問** 1万円納税して下さった方に対し、29品目の中から5000円相当の品物を返している。  
**答** 防災訓練について、自主避難訓練では、住民の受け止め方に緊迫感が足りず、想定する事態もよくわからないまま終わっている。消防署・行政の指導で緊迫感を持った訓練が実施できるようにしてほしい。

**問** 危険な空き家対策、今後どう対応していくのか。  
**答** 防犯・防災上危険な

**問** 八女市においての「ふるさと納税」はどうなっているのか。  
**答** 防犯・防災上危険な



岡山校区(室岡公民館)

# 議会報告会 ～開かれた



大淵地区(大淵基幹集落センター)



辺春地区(辺春コミュニティセンター)

**問** いきいき行政区運営交付金で、道路愛護も行うようになってきているが、旧八女市のように世帯数も多く交付金も多く、愛護区間が短いところはいいが、山間地では逆に交付金は少なく愛護区間は長く交付金では足りない。距離数で算出するなど方法を考えるべきでは。

**答** 旧黒木町の時は距離数で支給されていたが、合併し旧八女市の積算方法になった。積算方法等を見直すべきではという事ではない状況にある。

**問** 堤防内に雑木が生えてきているが、執行部も認識はしているが、なかなか実を結ばない状況である。早急にせねばならない課題だと思つし執行部についていきたい。

**問** 堤防内に雑木が生えてきている。市に聞けば区で刈ってくれと言われるがとも出来ないが区でせねばならないのか。

**答** 当然管轄している県、市が行うべきであるが、業者不足、予算的な事で出来ない状況にある。

地区名	月日	時間	会場	参加者数	昨年参加者数	
八女市	福島	11月17日(月)	19:00	八女市役所 205会議室	14	22
	長峰	11月 8日(土)	19:00	吉田公民館	25	19
	上妻	11月13日(木)	19:00	八女市総合体育館 研修室	25	30
	三河	11月 6日(木)	19:00	八女市多世代交流館(共生の森)	50	40
	八幡	11月 5日(水)	19:00	西公民館	48	25
	川崎	11月 4日(火)	19:00	東公民館	35	33
	忠見	11月12日(水)	19:00	忠見北公民館	34	27
岡山	11月 8日(土)	19:00	室岡公民館	40	19	
上陽町	上陽	11月18日(火)	19:00	上陽公民館	27	27
黒木町	黒木	11月 7日(金)	19:00	黒木開発センター	32	21
	豊岡	11月26日(水)	19:00	豊岡コミュニティセンター	33	53
	串毛	11月14日(金)	19:00	串毛コミュニティセンター	48	43
	木屋	11月 7日(金)	19:00	木屋農村環境改善センター	66	47
	笠原	11月 7日(金)	19:00	笠原集会所	58	65
	大淵	11月 5日(水)	19:00	大淵基幹集落センター	73	40
立花町	光友	11月13日(木)	18:30	八女市立花市民センター	32	34
	辺春	11月 5日(水)	19:00	辺春コミュニティセンター	61	47
	北山	11月13日(木)	19:00	北山コミュニティセンター	33	30
	白木	11月11日(火)	19:00	白木コミュニティセンター	54	44
矢部村	矢部	11月27日(木)	19:00	矢部公民館	14	36
星野村	星野	11月21日(金)	19:00	星野支所 大集会室	37	45
合計				839	747	

**問** 伝統本玉露振興対策事業の反あたり7万5千円をぜひ継続していただくよう市に強く要望を

**答** 継続事業として強く要望していく。

**問** 工業団地を造成し企業誘致に市はもつと頑張つてほしい。65歳以上でも雇用できるように願いたい。

**答** 重要な意見としてとらえ、市に報告する。

**問** 合併して5周年になるが、人口7万1千人から6万7千人と3〜4千人減少している。基幹産業がないから若者が定着しない。若者が増えないと、市の存続は危うい。子育て環境の整備と若者定着の施策を。これは喫緊の課題である。

**答** 役所内にも人口減少対策本部を設置し、研究に取り組んでいる。